学校番号	324

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「詳説日本史」（山川出版社）						
副教材等	「新詳日本史」（浜島書店）、「日本史の整理と演習」（とうほう）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

時系列かつ分野別に重要事項を確認しつつ問題演習を行い、後期には文化史の学習も問題演習とあわせて行う予定です。以上の学習により、日本の歴史について、受験対策だけでなく多角的かつ深い知識を身につけることを目標とします。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
各時代について、問題演習を行い、必要に応じた講義も受け、日本史の基礎力(知識・技能)を身に着けていること。
【思考力、判断力、表現力等】
世界各地の歴史に関連させながら総合的に日本史を理解することで、思考力・判断力・表現力を養う
【学びに向かう力、人間性等】
授業を通じて「歴史を学ぶ楽しみ」を見出し、単なる知識の詰め込みだけなく、自主的・主体的に日本史関係の読書や博物館見学を行う

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	原始から現代にいたるまでの日本史の基礎的な知識を身につけていること。また、その上で、発展的な内容にも取り組んでいること。	十分な知識・技能を身につけた上で、史料等を研究・分析し、各時代の政治・経済・文化について多角的に考察することができる。また、それを適切に表現できる。 論述問題にも対応できる。	日本史全般についてマクロな視点とミクロな視点の両方を持ち、自分が特に関心を持った時代・分野について自主的に研究活動を行っていること。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	原始～奈良時代	・旧石器～弥生文化 ・古墳時代 ・律令国家の形成	a:旧石器文化から古墳文化にかけての流れを理解し、律令国家の成立にいたる経緯を理解している。 b:考古遺物や史料を通じてより詳しい歴史情報を手にいれる。 c:自分の興味をもった時代について、より詳細に研究している。	・定期テスト ・ノート	・ワークシート	・グループ討議 ・ミニレポート
	平安～鎌倉時代	・貴族政治の展開 ・院政と武士 ・鎌倉幕府の時代	a:摂関政治からと武士の登場、鎌倉幕府の成立について理解している。 b:貴族の日記や吾妻鏡などの史料の抜粋等を読み、歴史理解を深めている。 c:知識の定着だけでなく、興味をもった歴史上の人物や文化についても研究している。	・定期テスト ・ノート	・ワークシート	・グループ討議 ・ミニレポート
	室町～安土桃山時代	・室町幕府とその時代 ・戦国大名 ・織豊政権	a:室町幕府の成立から戦国大名の登場、全国を統一した豊臣政権について理解している。 b:庶民の台頭や現代につながる当時の文化に注目しながら歴史を理解しようとしている。 c:分国法や刀狩令などの基本史料を読み、その内容を理解していること。	・定期テスト ・ノート	・ワークシート	・グループ討議 ・ミニレポート
	江戸時代	・幕藩体制の成立 ・幕藩体制の動揺 ・開国と幕末の動乱 ・幕府の滅亡と新政府の発足	a:江戸時代の通史と文化について理解していること。 b:基本史料を読んで、幕府の政策の内容とその背景にある内外情勢等をふまえて、歴史を理解しようとしている。 c:元禄文化や化政文化において、興味をもった文学作品の現代語訳を読んで、作品や作者について自分で研究している。	・定期テスト ・ノート	・ワークシート	・グループ討議 ・ミニレポート

	明治時代	・明治維新と富国強兵 ・立憲国家の成立 ・日清、日露戦争	a:明治政府の諸改革、大日本帝国憲法の制定、日清・日露戦争について理解している。 b:近代国家の発展を諸外国（特に東アジア）の立場も考慮して考察することができる。 c:明治期の著名な人物の生涯を通じてその時代を考察することを試みる。	・定期テスト ・ノート	・ワークシート	・グループ討議 ・ミニレポート
	大正～昭和前期	・第一次世界大戦とワシントン体制 ・産業の発達と大衆文化 ・恐慌と軍部の台頭と第二次世界大戦	a:第一次世界大戦にいたる道とその内容、その後の協調体制について理解する。大正期以降の大衆文化の形成についても理解する。その後の軍の暴走と第二次世界大戦の内容について理解する。 b:二つの世界大戦について学習することで、恒久平和の重要性について自覚している。 c:世界大戦の反省から、平和のために何ができるか、自分なりに意見を発表できる。また取り組んでいる。	・定期テスト ・ノート	・ワークシート	・グループ討議 ・ミニレポート
後期	現代	・占領と改革 ・冷戦と講和 ・高度経済成長 ・経済大国 ・日本社会の変容	a:戦後民主主義の形成と経済大国への道、現代日本社会の問題点について理解している。 b:戦後日本の発展について研究し、その負の部分についてもよく理解している。 c:戦後史を研究して、現代日本の抱える諸問題について自分なりの処方箋を持っている。	・定期テスト ・ノート	・ワークシート	・グループ討議 ・ミニレポート
	総論	・全時代を対象とする。	a:日本歴史全般に通じていること。入試的には、共通テストや私学入試に対応できる学力を有していること。 b:基本史料や有名作品を通じて、歴史より深く研究しようとしている。特定のいテーマについて、２００字程度で論述できる。 c:入試対策だけでなく、読書や博物館見学などを通じて、「歴史を学ぶ楽しみ」を見出している。	・定期テスト ・ノート	・ワークシート	・グループ討議 ・ミニレポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度